



「お兄さん・お姉さんから歓迎のプレゼント」

4月5日に行われた奥春別小学校(中村涼子校長)の入学式での1コマです。6人の新入生を歓迎して、上級生からお花が贈られました。たくさんのおうれしさと、ちょっぴりの不安を抱えて、それぞれの新しい春が始まります。

(関連記事22～23ページ)

Public relations magazine

2013.5

No.705

てしかが

主な内容

- 今月は町税滞納整理強調月間です・・・②
- 住民税の年金からの引き落とし(特別徴収制度)が始まります!・・・③
- 第38回児童生徒読書感想文コンクール・・・④
- 第68号町議会だより第1回定例会・・・⑥
- 入学式・入園式・・・⑫
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設・・・⑫

むかしむか史 (271)

てしかが歴史写真館 145



老木になりました

明治・大正・昭和・平成の長い時を、この地で懸命に生きています。1906(明治39)年に始まった屋斜路簡易教育所。私たちが創成期のころで、子どもたちと一緒に育ちました。

「おはよう」「さよなら」「また明日」...とみんなで声をかけていました。もちろん子どもたちには聞こえませんでした。本当ですよ!!

大正に入ると、大山神を祀る社も建てられ、コタンの中心を担う大切な場所となりました。大人や子どもたちが集う祭りや、花の下で歌い踊る春の行事が行われ、私たちが楽しく参加していました。

若き更科源蔵さんが代用教員として赴任してきたのが1930(昭和5)年。ほぼ1年間、目を輝かせて子どもたちと交流していた姿は、私たちの心にしっかり刻まれています。100年以上を経て、今の私たちは老年期。わが町で一番古い桜になったようですが、今、見る冬の立ち姿には心が痛みます。幹には亀裂が入り、折れた枝の跡が多く目立ち、朽ちる時の接近をみんな自覚しているようです。

幸いにも、足元の熊笹に隠されていた私たちの実生苗を見つけてくれ、別の場所で育ててくれていますので、私たちが安心して1年1年に命を懸けることができます。湖の氷が開け、森が芽吹き、豊潤な春の訪れが今年もやってきました。

間もなく満開!!私たちが全霊を注いだ大仕事です。

※1911(明治44)年に撮影された人物集合写真以外の建物と桜の立ち位置は、筆者が想像で描きました。

てしかが郷土研究会(充洋)

てしかが 2013.5

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています